

2022 年度 第 1 回理事会議事録

期 日：2022 年 7 月 2 日（土）15:30～17:00

会 場：ビジョンセンター日本橋 東京都中央区日本橋室町 1-6-3 山本ビル本館 504 号室

会場出席：内田幸司、岡本和也、笠井治昌、菊地克彦、土井 司、熊代正行、山崎 良、
錦 成郎

Web 出席：黒田 輝、江田哲男、大野誠一郎、鈴木雄一、高橋順士、高橋光幸、寺田理希、
沼野智一

委任：吉丸大輔

1. 2022 年度理事会運営体制

JIRA から理事の変更（JIRA_MR 標準化委員の交代のため）

上田 優（フィリップスメディカル）→ 岡本和也（キヤノンメディカル）

2. 2022 年度理事会開催予定

第 1 回理事会 2022 年 7 月 2 日（土） 2022 年度事業計画 第 18 回認定試験

第 2 回理事会 2022 年 9 月下旬（web）第 18 回認定試験受験者の承認、試験準備確認

第 3 回理事会 2022 年 11 月下旬（web）第 18 回認定試験合格者の承認、安全講習会

第 4 回理事会 2023 年 3 月中旬 更新者の承認、次年度計画の立案

3. 第 18 回磁気共鳴専門技術者認定試験

(1) 開催期日 2022 年 10 月 30 日（日）12:50～15:40

(2) 試験会場 東京）ビジョンセンター西新宿 7F（新宿区西新宿 1-22-2）

大阪）難波御堂筋ホール ホール 7（大阪市中央区難波 4 丁目 2-1）

(3) 定数 各会場 180 人

(4) 受験申請資格に関する確認事項

1) JSRT 秋季学術大会の発表の取扱い

演題登録（演題名と発表者名）がわかる書面を添付することで認める

実際に発表をしたかどうかは認定試験受付時に確認する

この取り扱いは、試験に日程を前倒しにした第 18 回認定試験のみ適用する。

2) JART の特別資格の変更

「アドバンス技師」のレベルが新生涯教育システムの「レベル 2」と同等となった。

JART の特例申請資格を「レベル 2 以上」に変更する。

MRI の基礎講習はレベル 2 の e-learning に含まれる（2024 年に完全移行）

① 5 年レベルの経験年数

② 診療放射線技師基礎講習 基礎技術コースすべて（11 項目の e-learning 受講）

「MRI 基礎技術講習」に関して機構から救済措置を講じる（第 18 回限定）。

- (5) 試験プログラム 13:00～14:00 (1) 基礎物理, 撮影技術, 応用技術, 読影技術など
14:15～15:15 (2) 保守管理, 安全性, アーチファクト, 解剖など
安全管理講習 事前に e-learning による受講
- (6) 受験申請 2022 年 8 月 10 日 (水) ～9 月 10 日 (土)
- (7) 試験実施最終判断 2022 年 10 月 20 日 (木)
- (8) 運営スケジュール 書類審査 2022 年 9 月 1 日～20 日
受験資格者通知 9 月下旬 第 2 回理事会
認定者承認 11 月下旬 第 3 回理事会
認定証の送付 12 月下旬
- (9) 第 18 回認定試験合格者の認定期間 2023 年 1 月～2028 年 3 月までの 5 年 3 カ月

4. 第 18 回磁気共鳴専門技術者認定試験作成委員会

- (1) 認定試験作成委員会 第 1 回会議 7 月 16 日 (土) 10:00～ JSRT 東京事務所
第 2 回会議 8 月 20 日 (土) 13:00～ JSRT 東京事務所
- (2) 認定試験監査 第 1 回審査 7 月 18 日 (月) ～2 週間 メール, Web 会議
第 2 回審査 8 月 22 日 (月) ～2 週間 メール, Web 会議
- (3) 試験問題校了 2022 年 9 月末

5. 第 3 回・第 8 回・第 13 回試験認定者の更新

- (1) 更新申請 2023 年 2 月 1 日 (水) ～20 日 (月)
- (2) 更新審査 2023 年 2 月 15 日 (水) ～3 月 1 日 (水)
- (3) 更新者承認 第 4 回理事会
- (4) 所属団体の確認 (現在は確認できていない)
磁気共鳴専門技術者は構成 7 団体のいずれかに所属することを求める。
更新申請時に認定試験申請時と同じようなチェック項目 (会員番号記載) を設ける。

6. MRI 医療安全管理セミナー

- (1) 開催期日 12 月 3 日 (土) 10:00～17:00 (会場未決定)
- (2) 開催場所 ビジョンセンターなど有線 LAN を設置した会場で開催する
- (3) 開催方法
 - 1) 会場ライブとライブ配信のハイブリッド方式を予定する
会場 : 約 30 人 (定員を設ける、定員をオーバーすれば web 参加とする)
web : 200 人 (Live 配信会場に視聴者がいた方が講演者に熱が入る)
収容 100 人程度の会場を確保する (7:30～準備可能)
 - 2) セミナーを収録しホームページの「動画で学ぶ医療安全」を更新する。

(4) 受講申込 11月1日(火)～25日(金)

RacNe から「会場」or「web」を分けて申し込みを受け付ける。

(5) 参加費

1) 更新のための受講は無料とする。

2) それ以外の方からは1000円を徴収する(視聴資格制限は設けない)。

(6) 運営

1) 受付シートから参加URLを配信する

2) 認定者の出席証明書(受講証明書)はRacNeへの自動登録とする

更新のための受講者:安全管理講習へのポイント付与

それ以外の認定者の受講者:研究会の相当する5ポイントの付与、領収書の発行

認定者以外の参加者:参加証と領収書の発行

(7) 開催プログラム (座学のみで実習はなし) プレゼン 25分

10:00-12:00 1) 基本的な医療安全対策 高橋 順士

2) 強磁性体の持込み 秦 博文

3) 体内装着品への対応 高橋 沙奈江

4) 操作モード(SAR, dB/dt, slew rate) 小見 正太郎

13:00-15:00 5) 化粧に関する考え方と実際の対応 星 由紀子

6) 貼付剤の対応と注意点 吉田 礼

7) 条件付きMRI対応医療機器について 矢部 邦宏

8) 体外装着品への対応 坂井 上之

15:15-16:15 9) MR装置の安全管理(法令に基づく安全管理技術) 岡本 和也

10) 事故を起こさない環境を構築するために 土井 司

16:15-17:00 質疑応答

翌日 各自による確認試験(各演題で質問作成)

7. 2022年度予算計画

(1) 収入計画 4,720,000円

(認定試験2,700,000円 更新料2,000,000円 安全セミナー20,000円)

(2) 支出計画 6,720,000円 (理事会650,000円 認定試験関係2,020,000円

医療安全活動1,850,000円 事務費2,200,000円)

(3) 当期収支差額 -2,000,000円

8. 認定研究会の管理

(1) ポイント収集のための個人票の廃止に伴い更新時の研究会参加の真正性を高める。

(2) 研究会(主催者)側も受講者(更新者)側も使い勝手がよくなり(便利になり)不正のなくなるシステムを構築する。

- (3) 究極的には、参加証の添付をなくし参加時にポイントが自動的に RacNe に集積されるシステムを構築する（更新者も更新時に参加証を添付しなくてよくなる）。
- (4) 会場参加者は QR コードで受付ける。
- (5) 第 18 回認定試験（10 月末）に広報できるように準備を進める。
- (6) 研究会は、研究会と開催期日を RacNe に登録する
- (7) 参加者（研究会）は研究会の参加受付と RacNe のセミナー・講習会申請に登録する。
- (8) 研究会にシステムの変更と導入（普及）を強く求める。
- (9) 研究会の代表者向けに説明会を開催する。
- (10) 研究会の代表（責任者）もしくは管理者に磁気共鳴専門技術者の就任を求める。

9. 聴覚障害者向けの広報 VTR の作成

聴覚障害者会からの要望があるが、磁石の反転事故なども起こっている現状があり、添付文書に記載のように弾性包帯を巻いただけでは不十分であり、耳鼻科の医師と相談し慎重に進める。

10. その他

(1) NPO 法人に関する定期提出

- 1) 活動状況報告書や収支計算書などを 8 日に京都市役所へ提出する。
- 2) 活動チェックシートの提出も求められている。

(2) 今後に企画できる医療安全啓発活動

医療の質・安全学会で、MRI 安全（危険性含む）の情報が医療安全管理をしている他職種（看護師等）に届いていないという意見があった。

(3) 次回理事会の開催

2022 年 9 月下旬（web 開催） 都合の良い日を調整する

以上